

第51回こどもの交通安全大会

大浦小学校が最優秀賞を受賞

5月29日、サザンクス筑後（筑后市）で行われた交通安全活動に取り組む小学校を表彰する「こどもの交通安全大会」で、大浦小交通安全少年隊が最優秀賞を受賞しました。

全校児童が所属しているという大浦小交通安全少年隊がこの大会で最優秀賞を受賞するのは、34回連続35回目。最上級生である6年生28人は、指導班としてユニフォームを着用し、定期的に通学路に立ち、下級生に対して交通安全指導を行っています。

この受賞を受けて6年生の黒滝旺雅くんは「これからも下級生の手本となるように、はっきりと大きな声で交通安全の大切さを指導していきたいです」と元気よく話しました。



▲校門前で下級生たちに交通安全指導を行う6年生

高齢者に地域のつながりの場を

「まちの保健室」新設

6月14日、後藤寺商店街サンシャイン通りで開催された「サンQ市」にあわせ、高齢者の健康増進や生活不安の軽減などを目的とした「まちの保健室」が新設されました。

この取り組みは、今年4月から市で運営が始まった地域包括支援センターをはじめ、後藤寺商店街、福岡県立大学が共同で企画。この日は、血圧測定やヒーリング、健康相談などが行われ、会場を訪れた常盤愛子さん（位登）は「親戚以外にも気軽に相談できる場所ができて良かったです。これからも利用したいです」と話しました。

なお、同保健室は今年度10月、12月、2月開催のサンQ市にあわせて開設を予定しています。



▲チェックシートを用いながら健康相談を行いました。

シリーズ

田川市立病院だより

●かわいい情報はHPで検索

田川市立病院

検索

クリック



歯科・  
歯科口腔外科  
天野 裕治  
あまの ゆうじ  
院長

診療科の紹介— 歯科・歯科口腔外科

田川市立病院歯科・歯科口腔外科は、わたしと藤田弥千医長の常勤医2人で診療を行っています。当科は、病院歯科として田川市郡の歯科診療所だけでなく、医科診療所などからも多数の紹介をいただいています。

歯科診療所では、治療が困難な口腔外科疾患である、顎や口腔内の感染症、智歯（親知らず）の抜歯、外傷（顎の骨折、口の中の傷、歯の外傷など）、口腔腫瘍（口の中のできもの）、顎関節症などの診断、治療を行っています。また、さまざまな疾患を持っていて、歯科治療にリスクがある人の治療も行ってい

ます。

最近では、舌や口の中がヒリヒリ痛む、口が渇くなどの異常を感じている人も多く、その原因としての口腔乾燥症、口腔粘膜疾患、口腔カンジダ症、舌痛症、三叉神経痛などの診断、治療も行っています。口の中で気になることがありましたら、気軽に相談してください。

治療の際には、かかりつけ医など地域の医療機関との連携を密に行い、安心、安全な医療の提供を心がけていきますので、よろしくお願いします。